

議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	桐原	府内	荒木	津田	永田	手嶋	坂本	大塚	源川	本田	佐藤	豊瀬	金田	山本	山部	三宮	賛成	反対
	則雄	隆博	俊彦	桂伸	和彦	靖隆	典光	一郎	貞夫	省生	真二	和久	英樹	富一	良二	美香	○	●
公有財産の処分について	-	○	●	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	●	10	5

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は賛成 ●は反対 棄は棄権 欠は欠席 早は早退
その他の議案については議会ホームページ、会議録をご覧ください。

大津町議会 検索

詳細はこちら



大津町議会HP会議録

議員の視点 一般会計補正予算に関する質疑

発言の一部を抜粋して掲載しています

荒木 俊彦議員



熊本地震で一部損壊の被害に遭われた3908世帯のうち町と県から見舞金や支援金を受けられた世帯は35.5%しかない。今回残りの2518世帯に郵便で案内を出す目的は何か。

答 一部損壊世帯で支援金の申請をされていない世帯へホームページで周知をしてきたが、今回、個別に郵送で周知をする。

金田 英樹議員



コロナを踏まえて1~2年前倒して小中学校のタブレットパソコン導入を進めるということだが、教材が前倒して整備できてソフト面が間に合わなければ効果的な運用は難しい。教材ソフト選定や教職員の研修などは大丈夫か。

答 教職員向けの研修は昨年度から段階的かつ計画的に進めている。今後もコロナの状況を見定めながらできるだけ早く適切な研修を実施していきたい。

佐藤 真二議員



コロナ禍で雇止め等になった方への救済としての緊急雇用2名の採用状況、および、大津町在住などの採用要件はあるかを問う。

答 ハローワークを通じて募集しているが、まだご応募いただいていない。困られている方を町民に限らず、雇用したい。

山部 良二議員



新型コロナの影響により暮らしに関する相談件数が増えているが、くらしの相談窓口の体制は1名の増員で対応できるのか。

答 今後も相談件数が増加するとともに継続した支援が必要になると見込まれる。現状では不足することも予想されるので、まずは1名を増員する。

コロナ禍克服へ
地方創生臨時交付金の使い道が決まりました。



6月定例会を、新型コロナウイルス感染症への対応を行なった上で、6月10日から17日までの8日間の会期で開きました。町長提案の一般会計補正予算案や、条例の改正など17議案を審議し可決しました。最終日には追加議案として16議案を審議し、農業委員会委員等の任命に同意しました。一般質問には、9人が登壇しました。また、新型コロナウイルス感染症への対応として傍聴席数を減らしたため、試行的に本会議の動画をインターネットで配信する取り組みを行いました。



議長 桐原 則雄

大津町がもっと暮らしやすい町へ!

令和2年度補正予算案をチェック!

事業継続、雇用維持、新しい生活様式、感染防止など (うち特別定額給付金約35億)

補正総額
45億2538万9千円

●緊急雇用創出 280万円

新型コロナ感染症相談業務対応のため、緊急雇用として6月から来年3月末まで2名を雇用する。

●図書館感染防止対策 130万円

図書館蔵書の感染症予防対策のため、図書消毒機を導入する。

●くらしの相談窓口 420万円

新型コロナ感染症の影響で仕事が無くなった方や収入が減少した方が、今後の生活を立て直すために相談支援を行う。

●電子書籍システムの導入 160万円

読書環境の充実を図るために電子書籍システムを導入する。

●公民館鍵リモート 390万円

公民館等の鍵をリモート化し、集中管理により施設の利便性の向上を図り、接触機会を減らす。

●児童手当現況届郵送受付 30万円

新型コロナ感染拡大を防止するため郵送により受付を行う。

●学校給食による肉用牛の消費拡大事業 1000万円

休校に伴う小中学校の補習期間に夏バテ防止策として学校給食に県内産肉用牛を活用する。